

西部地区だより



きずな

—発行—

2023年9月30日

西部地区社会福祉協議会

発行人 山下 正美

【第2号】



片原町通りで大ハッスルする「西部踊り連」

「善通寺まつり総踊り」に西部地区も出場

善通寺まつりの総踊りが7月23日に4年ぶりに開催されました。

西部地区からは「よさこい鳴子踊り（よっちょれ）」で、子供から大人まで100人余りの人数で参加しました。

前回までのゆるやかな踊りからテンポの速い元気な踊りに変えて「よっちょれ、よっちょれ」の掛け声も勇ましく、新調した竜の絵柄を染め抜いた大旗をふり、存在感をアピールしました。

来年の善通寺まつりには、この旗のもと大勢の方が参加されますよう期待しています。



西部地区令和5年度上期の活動

～ こんなことがありました ～

西部地区市民体育祭が4年ぶりに開催

コロナ禍で中止が続いていましたが、去る5月20日西部小学校運動場で開催されました。

幼稚園児の「子供宅急便」、長寿会の「玉入れ競争」また地域対抗の「リレー」など老いも若きも力を合わせて良い汗を流しました。



小学生と父兄の大縄飛び

民生・児童委員からのプレゼント



心をそえてプレゼント

西部地区社会福祉協議会では給食サービスのない夏期に「盛夏日応援事業」と名付けて一人暮らしのお年寄りにお菓子などをお配りしています。

今年は8月17日に安否確認を兼ねて民生・児童委員から42人にプレゼントしました。

西部幼稚園・小学校に教育資機材をプレゼント

西部地区幼・小教育後援会は西部の幼稚園と小学校の教育環境をよくする目的で、地区内の方々から会費を募り教育資機材を寄付しています。令和5年度は小学校に大型プリンター、幼稚園にはかんたんテントを寄付しました。

教育や課外活動で大いに役立つと喜ばれています。



かんたんテントと園児

防災講演会が開催されました

去る9月9日「ハザードマップから学ぼう」と題して善通寺市自治防災課西岡参事から西部地区の水害などの危険度について話がありました。

ハザードマップは災害発生時にその被害が及ぶ範囲を想定し、合わせて避難情報を地図に表示したのですが、活用の方法について認識を深め、新たにすることができました。



熱心に聴き入る受講者

五岳荘へ敬老慰問

善通寺の老人施設「五岳荘」へ西部地区の「大正琴同好会」、「カラオケ同好会」、「旧ひまわり会」の3団体が入所者に元気に楽しいひとときを過ごしてもらおうと、さる9月15日に訪問しました。

日頃の練習の成果を精一杯発揮し、会場は盛り上がりました。

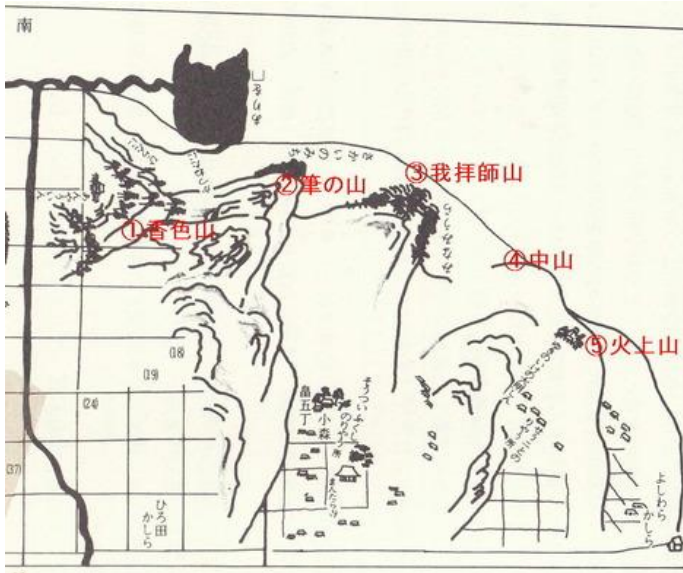


出演者による総踊り

西部地区の紹介

西部地区にある遺跡、神社仏閣など誇るべき歴史遺産や文物を紹介していきます。それにより地区への関心が深まり、郷土を愛する心の醸成につながることを期待しています。

《 有岡大池 》



鎌倉時代の善通寺・伽藍絵図の一部分

この池が築造された年代は定かではないが、鎌倉時代に作成された「善通寺・伽藍絵図」にその存在が見えるので、それ以前ということになる。

その後、記録によると江戸時代に大きな改修が行われ、池は拡大され、当時受益面積は113haとなっていた。

明治になり農地が師団用地に転用され、さらに近年の農地の宅地化で受益面積は減少し、現在では35.7haとなっているが、それでも弘田川を通じて善通寺・多度津地区の農業用水として大きな役割を担っている。

太平洋戦争時に旧陸軍の爆破訓練場として使用されたため、堤防自体も大きな損傷を受けた。そのため、堤防補強工事を行い、さらに昭和54～59年にかけて抜本的な改修工事が行われた。

また、平成18年の農村環境整備事業で遊歩道などが整備され、大麻山や我拝師山を背景に、素晴らしい景観を形成している。



有岡大池と我拝師山遠望

有岡大池の諸元

貯水量	250千m ³
満水面積	9.8ha (甲子園グラウンド面積の約7.5倍)
受益面積	35.7ha (約36.0町歩)
堤長	460m
堤高	11.9m

(松浦 孝昇 記)

令和5年度下期の主な事業

事業名	主催・主管	実施予定日
イキイキスポーツ大会	市老人連合会	10月27日(金)
公民館まつり	公民館まつり実行委員会	11月11日(土)・12日(日)
長寿を祝う会	長寿を祝う会実行委員会	11月12日(日)
老人文化祭	市老人連合会	令和6年1月中旬
西部地区防災訓練	西部自主防災会・他	令和6年3月上旬
三世代交流スポーツ大会	西部地区体育振興会・他	令和6年3月上旬

生涯学習 趣味の会グループ紹介

西部大正琴同好会

毎週金曜日の午前中、西部公民館ではみやびな琴の調べが流れます。昭和63年頃に設立というから35年の歴史を持っている「西部大正琴同好会」の練習です。

三好志津子会長、山田総子指導のもとに会員総勢6名が和気あいあいながら熱心に取り組んでいます。

レパートリーは童謡から演歌まで幅広く、成果は公民館まつり、仲善広場ライブなどで発揮され喜ばれ地域貢献しています。



編集後記

今年はコロナ対策も大きく緩和され、スポーツやイベントも再開されるものが増えてきています。本号(きずな2号)でも取り上げたように西部地区でも運動会、善通寺まつりが実施され、また近く公民館まつりや長寿を祝う会もほぼ前回なみで再開されることになっています。

4年間の空白を乗り越えおおいに盛り上がりてもらいたいものです。

また本号では西部地区の紹介として「有岡大池」を取りあげました。ご承知のように西部地区には古代からすばらしい文化遺産というべきものがたくさんあります。

今回の「有岡大池」を皮切りに紹介し、西部地区に一層の関心と愛着を持っていただきたいと思っています。執筆は善通寺市文化財保護協会監事の松浦孝昇氏です。ご期待下さい。

編集委員：山下正美、大鹿勝義、福田盛宏、森江清文、関 清伸、東條洋子、上田英昭、山野和秀、井上正雄